

とにかくひたすら
描いて、描いて
あるときふつと
“なんでも描ける！”と
思えるようになりました



卒業生が母校の武蔵野美術大学を振り返る

絵本作家になるまでに 私が学んだこと。

— みやこしあきこ vol.1 —

憧れの絵本作家という職業。

決して画力があればなれるものではありません。
その道のプロはいかにしてここまできたのか、
学生時代に学んでいたことを教えてもらいました。
今回取材したのは一目見れば誰の絵かすぐわかる
ほどの唯一無二の存在、みやこしあきこさんです。

描きまくっていた予備校時代が
今の作風につながった

木炭と鉛筆でモノトーンを基調に描かれる圧倒的な世界が国内だけでなく、海外での評価も高い絵本作家のみやこしあきこさん。今に至るまでにどんなことを経験し、学んできたのでしょうか。その道のりを2回にわたってインタビュー。

「絵本作家を意識したのは美大を目指していた予備校生時代。一浪しているんですけどそのときに、たまたま本屋さんで『よあけ』に出会い、絵本ってすごいなと衝撃を受けたんです。それまではなんとなく得意な絵を仕事にできればくらいに思っていました。絵本には何十年も読み継がれるという普遍的な良さがあるのが自分にしっくりきて」

みやこしさんが目指したのは美大の中でも花形と言われている武蔵野美術大学（以下ムサビ）の視覚伝達デザイン学科。デザインの原点を学び多様な表現方法を身につけ、卒業生は第一線で活躍するクリエイターも多いため、入試倍率が高い人気の学科です。

「ムサビの中でも平面と立体で学科がわかれているのですが、単純に絵が好きだからという理由で平面の視覚デザインに決めました。予備校では入試課題のデッサンと平面構成の課題を与えられてとにかく毎日、朝から晩まで描きまくっていましたね。浪人の1年、もう修行！ 高校までは、絵が上手な人とチャホヤされたりしたんですけど（笑）、予備校ではもっとうまい人がたくさんいたのでシヨックでした。でも、描き続けていたら、ふとあるとき、なんでも描ける！ とつかめたんです。この時代にデッサンを集中して制作し

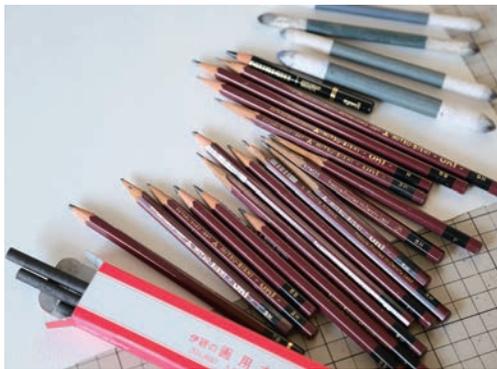
デビュー作『たいふうがくる』(BL出版本体1300円+税)。はっとするほどのモノトーンの世界で台風が来るドキドキ感を表現。



主流は木炭と、鉛筆を使った作品
グレーの濃淡で生み出す奥行き、臨場感



MOEからうまれた絵本『みてみて おかあさん』(LEE/文 白泉社本体1300円+税)。鉛筆やコンテ、色鉛筆などで描かれた子どもの愛らしい仕草が印象的。お気に入りのぬいぐるみも登場。



鉛筆はuniの9B~5Hを愛用。グレーの濃淡をこれで描きわける。ぼかしに使う擦筆、木炭も併せて使用。



栄えある賞は励みになります

「受賞はモチベーションにつながります」と話すみやこしさん。『よるのかえりみち』で2016年「ポロニーヤ・ラガッツィ賞」特別賞(写真右上)、2017年に「ニューヨーク・タイムズ&ニューヨーク公共図書館 The Best Illustrated Children's Books of 2017」(写真左上)、「Kirkus Reviews The Best Picture Books of 2017」(写真右下パッチ)を受賞。

『よるのかえりみち』

みやこしあきこ/作
偕成社 本体1300円+税

静かな夜の街。ウサギの男の子がお母さんに抱っこされて家に帰っていきま
す。明かりの灯った家々の窓から見える
それぞれの夜。シンとした静寂が伝わる
奥行きのある画に引き込まれます。



『よあけ』

ユリー・シュルヴィッツ/作・画 瀬田貞二/訳
福音館書店 本体1200円+税

「予備校時代に出会った絵本。ページをめく
ることで展開される絵本でしかできない
表現を私もやりたいと思いました」



『SNOW WHITE』

Josephine Poole/文
Angela Barrett/絵
Random House

「どこか不思議で雰囲気のある世界観に強く惹かれました。特に表紙が好きです」

みやこしさんが
影響された絵本3冊

『急行「北極号」』

C・V・オールズバーグ/絵と文
村上春樹/訳
あすなろ書房 本体1500円+税

「絵本ですが母性を感じさせるといよりは、むしろ男性的。“私も描くぞ!”と対抗意識を持ってしまいうらい(笑)、好きな絵です」



武蔵野美術大学オープンキャンパス開催!



オープンキャンパス2018
「ムサビを体験する!」

6月9日(土)、10日(日)
課題作品の展示や公開講評など、「等身大のムサビ」からその魅力を発見する!

真夏のオープンキャンパス2018
「ムサビを知る!」

8月18日(土)、19日(日)
詳細な学科説明や各種模擬授業、入試ガイダンスなどで美術・デザインと美大、そしてムサビの「本当」を知る!

武蔵野美術大学 鷹の台キャンパス
東京都小平市小川町1-736 ☎042-342-6995

profile

1982年埼玉県生まれ。武蔵野美術大学卒業。2003年より「ニッサン童話と絵本のグランプリ」への応募をはじめ、優秀賞2回、佳作4回を受賞。7度目となる2009年に『たいふうがくる』で大賞を受賞デビュー。現在は東京都在住。

たことが今の作風につながっているように思います。目に見えない隠れた部分や、物と物との距離感を意識したり、空間を描くということをやってきたことが今に生きているのかなと」
予備校生のときは、絵本作家はまだ夢の1つで、大学へは経験を求めて入学したとみやこしさんは言います。いつから1本の道が見えてきたのか、次回でじっくりご紹介します。